

# 「子どももねぶたも宝」

弘前・朝陽小児童に茂森津軽愛好会

## ペーパークラフト贈る

茂森津軽ネプタ愛好会（三國徹会長）は28日、新型コロナウイルスでねぶたまつりが中止になった中でもねぶたに親しんでもらおうと、朝陽小学校（齋藤昭校長）にねぶたのペーパークラフトなどを寄贈した。三國会長は「子どももねぶたも宝。子どもたちが来年のねぶたまつりに参加できるように願う」と語った。

ペーパークラフトのねぶた絵は、ねぶた絵師の山谷寿華さんが今回のために描き下ろしたもので、鏡絵には悪病を封じるとされる「鍾馗と予言の鳥」が、見送り絵には生物にパワーを与える「天照大神」が描かれている。全児童153人にねぶたのペーパークラフト、1年生と院内学級の児童28人に金魚

ねぶたが贈られた。見送り絵の原画も同校に寄贈し、鏡絵は弘前市西茂森のなかよし保育園に贈る。この日は三國会長らが同校を訪れ、代表の児童にペーパークラフトと金魚ねぶたを手渡した。6年の坂本侑奈さん（11）は「学校のために作ってもらってうれしい。夏休みに家族と作りたい」と笑顔を見せた。

ペーパークラフトは <http://www.igemorineputa.s2.xite.com/> からダウンロード可能。（齋藤葵）



三國会長（右）らからペーパークラフトなどを  
受け取る児童たち

陸奥新報 令和2年7月31日掲載 陸奥新報社提供

この画像は、当該ページに限って陸奥新報の記事利用を許諾したものです。転載ならびにこのページへのリンクは堅くお断りします。